



シルバーの 知恵・技・力で 地域に貢献

第3次中期計画
(令和元年から令和5年度)

公益社団法人
国分寺市シルバー人材センター

1 基本計画策定の目的

本計画は、平成26年度を初年次とする第2次中長期計画・後期計画の終了に伴い、「自主・自立，共働・共助」の基本理念のもと，変化し続ける社会・経済状況の動向を踏まえ，高年齢者の健康で生きがいのある生活の実現と地域社会の福祉の向上に資するため，令和元年度から令和5年度までの5ヶ年間の新たな中期計画として策定し，名称を「第3次中期計画」とし，PDCAサイクルを効果的に活用して，計画の進行管理を行います。

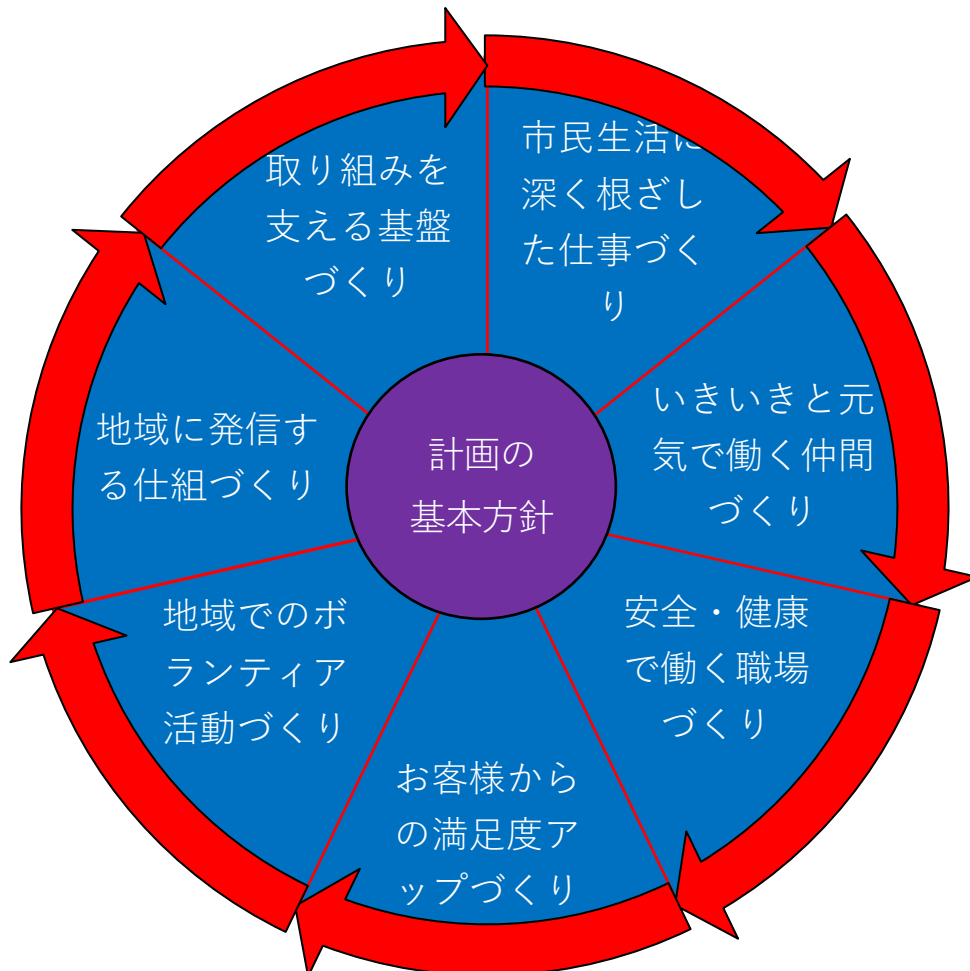
【 計画期間 】

平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
第2次中長期計画・後期計画					第3次中期計画				
					▲ 点検	▲ 点検	▲ 点検	▲ 点検	▲ 評価

なお，計画のスローガンは，引き続き

「**シルバーの知恵・技・力で，地域に貢献**」とします。

2 計画の基本方針及び計画を実現させるための取り組み



① 市民生活に深く根ざした仕事づくり

生計の維持ではなく、生きがいを得ることを主目的としているシルバー人材センター事業は、一定した収入の保障がなく、仕事内容も＜臨時的かつ短期的な就業＞または＜その他の軽易な業務＞に限定されています。

現役時代の経験を生かした技術指導に関する＜専門的・技術的職業＞や＜事務的職業＞の仕事は、**かなり需要が少ない状況**です。

このため、社会参加の意欲ある高齢者の希望や知識及び経験に応じた就業機会の場を確保し、就業の継続・拡大につながる事業に取り組めます。

また、受注する職種によっては、発注者から受注した仕事と、会員の希望する職種とのマッチングが、スムーズに進めないケースが見られることから、これらの状況を踏まえたうえで、就業開拓に取り組めます。

併せて、小さい仕事を数多く確保することにより、就業や事業の拡大を図っていきます。

具体的な取り組みとしては、現在受注している民間部門及び公共部門の事業の継続と、**市内事業者等への訪問・開拓などを行い**、新たな新規受注事業の獲得をめざします。

さらに、公共部門の事業に関しては、国分寺市長をはじめ担当課の地域共生推進課などとの協議の場を継続し、行政の考えや方向性の把握に努めるとともに、新規事業の**提案・獲得**に取り組めます。

② いきいきと元気で働く仲間づくり

ここ 30 年間の会員の高齢化は著しく、さらに上昇すると見込まれています。さらに、社会的には **70 歳**までの雇用確保が進むことから、入会会員の年齢も、高くなっていく**もの**と想定されます。

現在の受注事業を継続的かつ安定的に受注するために、常に入会会員の増強・拡大に取り組めます。

市内の保育所や介護施設では、人手不足により、今後、福祉・家事援助サービス分野の保育補助や介護施設等**で**の補助業務の受注が増加していくことが予想されることから、女性向けの講座の開催などを検討し、女性会員の確保・拡大に取り組めます。

植木剪定・除草作業・**家事援助サービス**など一定の技能を有する会員の高齢化が進んでおり、技能を要する後継者の育成が、喫緊の課題となっていることから、新たに就業を希望する会員を対象に、**東京しごと財団等が主催する技能講習会等への参加の周知・募集等を通じ**、後継者の育成に努めます。

また、一方で、未就業会員に対しては、就業情報などをつうじ、臨時の仕

事やこれまでやったことがない仕事等を紹介するなど、未就業会員が就業できるように、きめ細やかな働きかけを行います。

さらに、就業が困難になった会員の退会を回避し、地域とのつながりを維持できるように、先駆的なシルバー人材センターで取り組まれている、「(仮称)ゴールド会員」制度(会費の減額・減免)の創設や公益法人としての「地域貢献活動(新たなボランティア活動等)」を検討します。

③ 安全・健康、笑顔で働く職場づくり

シルバー人材センターへの入会動機は、＜健康維持・増進＞が最も多く、次いで＜生きがい・社会参加＞と続いています。紹介された仕事に就業するかどうかは、会員が任意に選択できるため、仕事の就業に大きな個人差があります。

また、会員の加齢による身体機能の低下も想定されることから、安全第一を基本に就業に心がける必要があります。

センターの安全就業に向けた基本計画として、「事故ゼロ」を目指して、会員の安全な就業環境を整備・推進するための事業に取り組めます。

さらに、就業中ばかりでなく、就業途上での事故も発生していることから、交通マナーや自転車の乗り方などの研修や指導にも取り組みます。

また、会員が安全に就業するためには、会員自身の健康が基本であることから、市の健康健診の積極的な受診を促すとともに、安全教育の推進に努めます。

④ お客様からの満足度アップづくり

顧客満足度調査としての「お客様アンケート」を引き続き実施し、分析を行うとともに、その結果を各職群等にフィードバックすることにより、多種多様なお客様のニーズに沿ったお客様からのシルバー人材センター事業の満足度のアップに努めます。

また、継続的な受注の確保や価格に見合ったサービスを提供するために、研修等で更なる技能の向上をめざすとともに、会員の接遇の意識向上に取り組み、高品質のサービスの提供に努めます。

さらに、「自主・自立、共働、共助」の理念に基づき、一人でも多くの会員が就業できるように、各種受託業務を検証し、適切な就業期間と均衡を図り、ローテーション就業やワークシェアリングを推進し、公平な就業機会の確保を推進します。

また、受託業務の内容により請負業務に馴染まない場合は、シルバー派遣

による就業機会の拡大を進めるとともに、会員の適正就業の徹底に取り組みます。

⑤ 地域でのボランティア活動づくり

定款第 4 条で、**シルバー人材センターの事業目的として**、「社会奉仕活動等をつうじて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業」と明記されていることから、公益社団法人として、会員の地域貢献事業（ボランティア活動及び同好会活動）への参加・機会を確保し、活力ある地域社会づくりに寄与・推進するための事業に取り組みます。

シルバー人材センターの目的や存在を、地域の皆さんに周知する機会にもつながることから、今後も、引き続き積極的なボランティア活動を促すとともに、様々な機会を捉えて、会員のボランティア活動への意識の熟成を図り、活動する市民とも連携するなどして、新たなボランティア活動の場を創出していきます。

⑥ 地域に発信する仕組みづくり

市民に広くシルバー人材センターへの関心を一層高めてもらうイメージアップ策として、多様な広報活動の充実・拡大を図り、シルバー事業を広く市民に周知し、地域社会を支える役割を果せるように、地域に発信する仕組みづくりに取り組みます。

広報活動の充実・強化は、市民や受注者の皆様に、センターの目的や役割をご理解していただく上で、重要な取り組みとなります。

今後も、会報、チラシ、ホームページなどの広報媒体の内容を充実させた上で、より多くの公共施設等に配架するとともに、ホームページをつうじ、常に最新情報の迅速な提供に努めます。

また、引き続き様々なイベントの機会を捉えて、積極的な広報活動を行い、市民とともに歩むシルバー人材センターをめざします。

会員に対しての必要な情報については、会報「いきがい」・「センターだより」・「安全だより」・「安全推進だより」等をつうじて、会員に**周知を図**っていますが、**今後更なる**情報内容の質、量を充実させていきます。

さらに、インターネット環境が整っている会員が増えていくことから、ホームページによる会員への情報提供も、**これまで以上に**充実させていきます。

⑦ 取り組みを支える基盤づくり

今後の厳しい高齢社会の中で、「自主、自立、共働、共助」の基本理念のも

と、自立した組織体制の構築・強化に取り組みます。

センターは、地域の高年齢者が、共働り、共助し合うことにより、就業をつうじて、福祉の増進を図りながら、自主的に運営する組織です。

組織の運営や仕事の受注等については、会員が自らの豊富な経験を生かしたうえで、会員の自主的、創意的な活動が活かされるような形で行い、職種毎のリーダーの育成や**理事、監事及び職員等**研修等についても、様々な機会をつうじて取り組んでいきます。

特に、**理事及び監事**は、理事会で積極的な役割を果し、業務執行について、迅速な意思決定を行い、機動的な法人運営に努めます。

現在の会計上における純資産は、現行のいわゆる「収支相償」と呼ばれる会計制度の制約下では、事業実施により得た黒字分を積み立てることはできないことから、事業実績が伸びても、直ちに財政状況が、好転するという訳でなく、この制度が、センターの長期的に安定した財政運営・組織運営を行う上で、大きな課題となっております。

引き続き経費の削減に努めるとともに、事業の計画・執行にあたっては、的確に対応した実務処理を行います。

会員の配分金については、**毎年**東京都最低賃金の水準の確保に努め、事務費の率については、社会的な相当額を設定して、受注者の皆様のご理解を得て、見直しを行うとともに、必要な財源を確保するなど、関係各方面にも積極的に働きかけていきます。

なお、本計画は、理事会が進行管理を行い、進捗状況や評価を踏まえ、各年度の事業計画に反映させます。

3 計画の数値目標

① 年度別受託件数 (各年度の件数は、年度別伸び率0.5%で算出しました。)

平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
5,792件	5,820件	5,840件	5,860件	5,880件	5,900件

② 年度別会員数 (各年度の会員数は、年度別伸び率4.0%で算出しました。)

平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
669名	690名	710名	730名	750名	780名

③ 年度別就業率 (各年度の実業率は、年度別伸び率0.5%で算出しました。)

平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
85.7%	86.1%	86.5%	86.9%	87.3%	87.7%

④ 年度別契約金額 (各年度以降の契約金額は、年度別伸び率2.0%で算出しました。)

ただし、令和2年度では、恋ヶ窪自転車駐車場指定管理が終了することから、令和元年度の数値と同じにした。

平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
279,941千円	285,000千円	285,000千円	290,000千円	295,000千円	300,000千円

⑤ 年度別就業延人員 (各年度の実業延人員は、年度別伸び率1.5%で算出しました。)

平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
62,189人	63,000人	63,900人	64,800人	65,700人	66,600人

⑥ 年度別ボランティア参加人数 (各年度のボランティア参加人数は、年度別伸び率5.0%で算出しました。)

平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1,710人	1,790人	1,870人	1,960人	2,050人	2,150人

⑦ 年度別シルバー派遣受託件数 (各年度のシルバー派遣受託件数は、年度別伸び率30.0%で算出しました。)

平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
9件	11件	14件	18件	23件	29件